



ASAHIGAWA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2500 No.3 GROUP
Established on October 26th.1934 RI No.3744

国際ロータリー第2500地区 第3分区

旭川ロータリークラブ 会報

第3630回例会 Vol.77 No.31 2026(令和8)年4月10日(金)

▼ プログラム

ゲストスピーチ 「北海道ヘンプの夜明け」
一般社団法人北海道麻振興会 副代表理事 川江 修 氏

メニュー

・シャルキュトリーと季節野菜のサラダ仕立て ・季節野菜の冷製スープ コンソメジュレ添え
・若鶏のグリヤード 粒マスタードソース キャベツとベーコンソテー 温野菜添え ・コンプレ&バケット ・パンナコッタ

環境月間

出席報告

第3629回例会

4月3日

会 員 97名
出 席 56名
出 席 率 57.73%

RIテーマ

会長 フランチェスコ・アレツォ

“よいことのために手を取りあおう”

4月18日(土) 第3631回例会プログラム

RI第2500地区第3分区 INTERCITY MEETING (振替例会)

これからの予定

4月24日(金) ゲストスピーチ (株)北海道ポットラック 代表取締役社長 前田あやの 氏
5月1日(金) 休会 (ゴールデンウィーク)
5月8日(金) 観桜例会 (夜間)

4月3日(金) 第3629回例会の記録

開 会 宣 言 五十嵐暁郎 会場副監督
国 歌 斉 唱 君 が 代
ロータリーソング斉唱 奉仕の理想

点 鐘 会 長 12:30

- 会 長 濱岡雄史 ●編 集 会報委員会 ●委員長 大蔵真美 ●担 当 山田隼人・西口正士
- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 ●事務局 五十嵐友紀子
- 例会場 星野リゾート OMO7 旭川 〒070-0036 旭川市6条通9丁目 TEL(0166)29-2777 FAX 24-2114
- 事務局 道北経済センタービル 2F 〒070-0043 旭川市常盤通1丁目 TEL(0166)25-1551 FAX 23-3398
- ホームページ <http://www.asahigawarc.org/> ●Facebook [facebook.com/asahigawaRC/](https://www.facebook.com/asahigawaRC/)



facebook

会長挨拶：濱岡雄史

皆さまこんにちは、今日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

本日の新入会員卓話は千代田電装工業㈱代表取締役 山内朋幸会員です。後ほどの卓話よろしく願いいたします。

4月は「環境月間」です。せっかくの機会ですので、今日は私自身が日ごろ大切にしている“自然との向き合い方”についてお話ししたいと思います。

私は趣味で溪流釣りをしますが、溪流は環境について考えるには本当に恵まれた場所です。澄んだ水、静かな森、そこに生きる生き物たち。自然の豊かさを肌で感じるたびに、「守らなければならないもの」がはっきり見えてきます。

釣りに行くとき、私が特に心がけていることが三つあります。

1. ゴミは必ず持ち帰ること。

ほんの小さなビニール片でも、自然の中では長く残ってしまいます。

2. 釣りすぎないこと。

自然の再生力に甘えすぎず、次の世代に魚が残るように節度を持つことを大切にしています。

3. 自然の恵みに感謝すること。

釣れた魚も、流れる水も、すべては自然からの贈り物だと感じています。

今年も待ちに待った釣りシーズンが始まります。

当クラブの釣り同好会でも、月1回の例会を予定しています。シーズンの締めくくりには、恒例のヤマメを味わう納会も行いますので、ぜひ多くの皆さまにご参加いただければ嬉しく思います。

環境月間の4月、私たち一人ひとりの小さな心がけが、未来の自然を守る力になります。今年も、安全に、そして自然を大切にしながら、釣りを楽しんでいきたいと思っております。

それでは、お食事にいたします。

会 務 報 告

- 1) ロータリーレート変更のお知らせ
2026年4月1日より 1ドル 160円
- 2) RI第2500地区ガバナー事務所より
Lady Go「集い・語り合おう！」参加のご案内を収受
- 3) RI第2500地区ガバナー事務所より「インターアクト地区大会開催のご案内」を収受
- 4) 公益財団法人米山梅吉記念館より「賛助会ご入会のお願い」と「米山梅吉記念館館報Vol.47」収受
- 5) 旭川市内ロータリークラブより会報収受

メ ャ ク ア ッ プ

3月28日(土)～4月3日(金)迄 敬称略
〔3月29日(日)第6分区IMへ〕

小滝達也

ニコニコボックス

生駒雅彦 君

フライングですが年男の誕生祝い、ありがとうございます。

濱岡雄史 君

誕生日プレゼント、ありがとうございます。

作田清治 君

先日は誕生日のプレゼント、ありがとうございました。

竹澤一樹 君

誕生日プレゼント、ありがとうございます。

佐藤浩光 君

妻の誕生日に素敵なお花を頂き、ありがとうございました。

宮崎陽江 さん

5月16日の公演のご案内をお送りさせていただきました。いつもご応援ありがとうございます。

プ ロ グ ラ ム

新入会員卓話

「自動車用バッテリーの役割と重要性」

千代田電装工業株式会社 代表取締役

山内朋幸 会員



皆さんこんにちは。まず、当社の概要についてお話させていただきます。創業は1941年、今年で85年を迎えます。

旭川を本社に、札幌、釧路、函館、帯広など、グループ会社を含めほぼ北海道全域で自動車関係の商売をさせていただいております。また、旭川市内でドコモショップを2店舗経営しております。売上構成としては、自動車用バッテリーが約4分の1を占めております。他にも自動車の電気関係の修理、ドライブレコーダー、ナビなどの販売、スマホなどを扱っております。北海道で、自動車用バッテリーの交換に伴う販売数量は約40万個で、当社はグループ会社含めて9万3000個ほど販売していますので、道内シェアは約23%です。

バッテリーの役割ですが、第1に、これがなければ車は絶対に動きません。どれだけ立派な車でも、立派なエンジンでも、始動させるためには電池が必要です。第2に、車は停まっても常に電気を使用しています（暗電流）。ドライブレコーダー、ナビ、時計などは、エンジンが止まっている間も常に何らかの電気供給を受けているので、正常に動いています。第3が電圧安定装置としての働きです。車には電池だけでなく、オルタネーターと呼ばれる発電機も付いています。電池を

使うだけではなくなくなってしまうので、発電をしながら充電をしてそこから使うというサイクルがありますが、充電が多すぎたり、放電が多すぎたりすると、車が動かなくなってしまいます。そこで調整弁というか、安定させる役割をバッテリーが担っています。

バッテリーは電気エネルギーを化学エネルギーとして貯蔵（充電）したり、化学エネルギーを電気エネルギーに代えて放電する、インとアウト両方の役割を担っています。車には電力消費量の大きいものがいくつも積まれています。ヘッドライト、ナビやモニター、ストップランプ、電動スライドドア…。一番電気を食うのはエアコンです。発電した電気を装置に使ったり、足りなければバッテリーの中から電気を使います。発電して余った電力はバッテリーの方に戻して、充電することになります。真夏とか真冬にバッテリーが上がるのは、負荷が過大だったり、充電がされなかったりしてバランスが崩れてしまうためです。

車が世の中に出て約百数十年経っておりますが、このバッテリーに関しましては、細かい変化はもちろんありますが、100年間全く基本構造は変わっておりません。希硫酸と鉛を使って化学反応を起こし電気を発電する鉛蓄電池です。車のバッテリーの90%以上はこの鉛蓄電池です。最近ですと、スマホにリチウム電池が搭載されています。ハイブリッド車にも大きなりチウム電池が積まれています。エンジンを始動させる時、車を走らせる時には必ずこの鉛電池も一緒に使用しています。トヨタさんの水素自動車「ミライ」も始動には鉛電池が必要です。

バッテリーにとって最も理想的な環境はプラス23度で、この温度で最も高い性能を発揮します。この瞬間にバッテリーの新品ができたとしてもですね、プラス23度じゃなければ、容量は変わってしまいます。暑さ寒さに非常に弱いのが自動車電池です。当社もたくさん在庫を抱えておりますけれども、鮮度管理が大事と社内によく言っております。

バッテリーも経年劣化します。年数が経れば経つほど、当然工業製品ですから、どんどん容量が小さくなったり、発電量、蓄える力が減ってしまいます。以前は3年で交換をお勧めしていました。最近は車の性能も上がり、バッテリーの性能も上がりましたが、それでも3年から5年で交換をお勧めしております。もっと長く使う方もたくさんいらっしゃいますが、昨日まで使えていた車が「パタン」と、『突然死』を迎えることがありますので、早めの交換がおすすめです。

先ほども少し触れましたけれども、エンジンがかかっていない状態でも、実はバッテリーから電気は失われています。大きなスピーカー、アンプをつけたりしている車は、暗電流が増え、バッテリーが早く減ります。スマホも全く同じで、充電しなければ元に戻りません。充電できるのはエンジンが動いている時だけです。土日しか乗らないとか、特にサンデードライバーで週に一回しか乗らない方になりますと、暗電流によってバッテリーの容量は減るし、充電させようと思っても充電してる時間が圧倒的に短いということになります。1年から半年でバッテリーが上がることも現実としてあり得ます。基本的には使えば使うほど長持ちします。

ただ、土日にとちょっとスーパーまで、どこかの役所まで、友達の家まで乗る程度では充電には足りません。ここからですと富良野ですとか、砂川ぐらいの往復をしない限りは充電のフェーズに入ってきませんので、ある程度の距離以上を乗っていただく必要があります。当社もそうですけれども、走行距離の長い営業車の方がバッテリーの持ちは良くなります。

私を知る限り30年以上、ひよっとするともっと前から、JAFの原因別出動件数のナンバーワンはバッテリー上がりです。全国で年間9万7千件ほど、1日あたり2,660件です。最近では電気を使うドライブレコーダーなどが増えてきたので、バッテリー上がりが年々増えています。それぐらい自動車の電池

というのは、頑丈のようで結構センシティブです。

なかなか乗らない、転勤で帰ってきた時にしか乗らないという方が一番バッテリーが上がりやすい、言い方を変えれば、そういうロイヤルカスタマーが増えれば増えるほどありがたいんですけども、今日お見えの皆様におかれましては普段から長距離走行をおすすめします。5～10分の走行で、その間にエアコンを使うと、放電の方が圧倒的に大きくて、バッテリーに良いことは一つもありません。短い通勤時間ならエアコンを切った方が良いと思います。

バッテリーのトラブルが増えるのが連休です。自動車のオルタネーターという発電機は、エンジンの回転の力を使うので、アイドリング状態だと発電量が減ります。そんな状況でエアコンを使うと、どんどん容量が減っていき、例えばサービスエリアに寄って降りたときに、急にエンジンがかからなくなります。

ですから夏の渋滞の時期、そして冬の寒さが厳しい時期、バッテリーが上がりやすいことから、事前に修理工場さんやディーラーさん、自動車部品の量販店で点検をして、早めに交換していただくことが、遠出の際に安心いただける車の乗り方になります。

ワイパーやライトなら、故障してもそのまま車に乗って、修理に行き、交換してもらうことができますが、バッテリーが上がったら車はもう動きません。上がってからではもう遅いです。ですから3～5年を過ぎたら早めに交換することが、これから先、安全なカーライフの一つの助けになると考えております。

点鐘 会長 13:30